

鳩
日
和



空車 小嶋

届けられた音

どこからか
ハープのような音が
風を渡って
こちらに届いてくる
音の送り主は
白い猫など飼っているのだろうか
いいえ
あの音などは
光が紡いだまぼろしでしょう

闇の雫

闇に撃ち落とされた
無数の雫たちが
わずかに光となって
こぼれ落ちてゆく
地面を貪り 舐め尽くすように
風が彼らを洗い流す
波動を伝えるように
土を這い 木々を渡り
やがて宙に還る

しみ

ぽつり
とも眩かずに
いつのまにか
かたちづくられる
まるい染み

声に出せなかった分
こうやって形に残した
やさしいかなしみ